

15 広域 岐阜 2018年(平成30年)7月11日(水曜日)

雪中酒で夏涼しく一杯

飛騨・河合で出荷最盛期

飛騨の山麓の湧き水で仕込んだ生原酒を、天然雪と一緒に届ける飛騨市河合町の特産品「飛騨かわい雪中酒」の出荷が、最盛期を迎えた。

北飛騨商工会が毎年企画し、夏の贈り物として人気がある。渡辺酒造店(同市古川町)が冬に河合町天生の湧き水で仕込んだ酒を、同町稲越の雪室で約四カ月低温熟成させた。

商工会員ら約二十人が作業。雪室から取り出した酒瓶を箱詰めし、雪と香り付けの桃の枝を入れた。会長の泉正樹さん(左)は「今年も雪が多かったので、きれいな雪をお届けできる。果物のように香り豊かな生原酒を楽しんでほしい」と話している。

五千本出荷し、作業は今月下旬まで続く。この日は天然雪で作る「雪だるま」(高さ三十三センチ)の出荷も

始まった。

雪中酒は一本(七百二十ミリリットル)入りが三千八百円、二本入りが六千円、雪だるまは三千二百円(いずれも送料、税込み)。●北飛騨商工会 0577(65)2261 (浜崎陽介)



出荷作業が進む雪中酒と雪だるま＝4日、飛騨市河合町稲越で